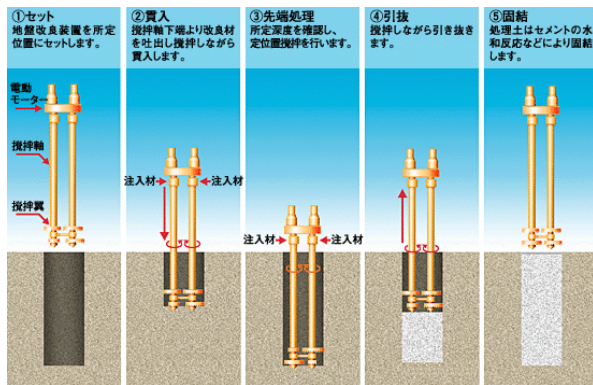


平成19年9月21日 CDM工試験施工

CDM船の船体検査（処理先端機の計上・ピッチ、攪拌翼の回転計、先端深度計、昇降速度計、スラリーポンプ流量計、船体管理システムの確認）を行い、試験施工を実施しました。試験施工（空打ち試験）は、計画地盤（②-S層）での処理船処理機が示す駆動油圧（駆動電圧）および処理機吊り荷重を測定し、着底判断基準値を定め、杭毎に改良下端（深度）の管理を行うために行います。



CDM船外観



CDM工法の模式図



処理機の先端

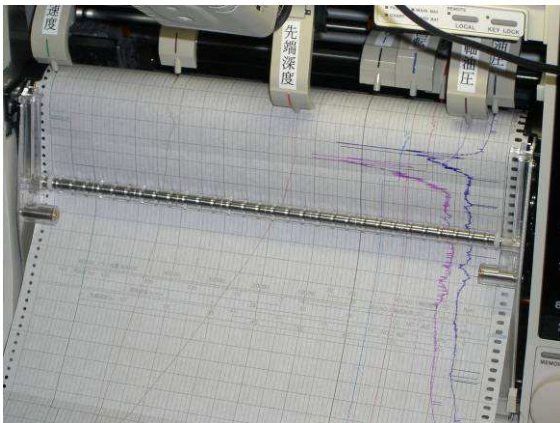
1号機4本、2号機4本の計8本



処理機に付着する粘性土を落とす様子
(処理機引き上げ時)



操作室の様子



操作室内のオシログラフ

駆動油圧（地盤の抵抗の大小）、先端深度
回転数、吊り荷重、スラリー流量を示し
ている。

これらの数値から着底判断基準値を定め
る。



セメントスラリー貯蔵タンク